

A

いや、俺さ、付き合うならオタク系女子がいいんだよね。

B

あーお前アニメ好きだもんな。

A

そうそう。一緒にアニメ観たり、コミケ行ったり、そういうのが理想。芸能人でいうと...
しょこたんみたいなの。

B

あーごめん、俺芸能人あんま詳しくなくて。しょこたんって誰だっけ？

A

ええ！？お前しょこたん知らないの？アニメ・ゲーム好きで「ぎざカワユス」とか言っていた...

B

あー！しょこたんって中川翔子のことね！

あの人かと思った、ほら任天堂スイッチを転売ヤーから買った人

A

いやその人だよ！まあまあ、違うんですけどね！！

B

じゃあしょこたんがタイプってことは、あの子も好きでしょ、ぱんちゃん璃奈

A

全然系統違うから！あとあの子は転売“した”側だから！（簡潔に事件の説明）
ちよっと転売ヤーから一旦離れよ？

B

あーごめんごめん。

えっ、じゃあさ、変な話、その子の部屋に推しの男キャラが大量にいてもOKってこと？

A

全然いいよ。

B

えっ、じゃあさ、変な話、その子が毎晩推しの男キャラと寝てても嫉妬しないの？

A

アニメのキャラに嫉妬とかしないから。

B

えっ、じゃあ、変な話

推して、画面の中にいるじゃん？でも俺たちが見てるってことは、あいつらもこっち
見てる可能性あるよね？

でさ、それを“感じる”この感覚って、俺たちの心じゃん？

じゃあ、逆に心がなかったら、画面ってただの光の点滅だよな。

つまり、俺たちの心が現実を作ってるんだよ。

.....これ、世界って“片思い”で成立してるんじゃないか？

A

本当に“変な話”すんな！何次元の話してんだよ！
じゃあ聞くけど、お前の理想の女性はどんな人なんだよ！

B

お米農家の娘かな～、いい米安く大量に仕入れられそうだし

A

お前それ絶対転売する気だろ！！もういいよ

B

あ、やった！またメルカリでSwitch売れた